

産業構造審議会 産業技術環境分科会
地球環境小委員会 流通・サービスWG 説明資料

ホームセンター(DIY)業における 地球温暖化対策の取組

2017年2月28日

一般社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会

1. 協会概要

- ・設立：1980年5月（社団法人設立）
- ・会員数：小売会員58社（2016年9月末現在）
- ・主な事業：住関連商品やサービスを中心に販売しているサービス業（小売業）。1972年に、日本ではじめて住関連の商材を品揃えした本格的なホームセンターが誕生し、現在では、約4兆円の業界規模となる。取扱商品としては、DIY素材・用品、電気用品、インテリア用品、家庭日用品、園芸・エクステリア用品、ペット用品、カー・アウトドア用品、カルチャー用品等の住関連商材を中心に品揃えする流通小売業。なお、近年では、防災関連や環境配慮型の各種商品の販売を担うことにより、ホームセンターの社会的な役割が高まっている。

2. 2020年及び2030年の削減目標

〈ホームセンター(DIY)業界における低炭素社会実行計画〉

①2020年目標

目標指標は、店舗における生産量(床面積×営業時間)当たりのエネルギー消費量(エネルギー消費原単位)とし、目標年度(2020年度)において、基準年度(2004年度)比15%の削減を目指す。

②2030年目標

目標指標は、店舗における生産量(床面積×営業時間)当たりのエネルギー消費量(エネルギー消費原単位)とし、目標年度(2030年度)において、基準年度(2004年度)比25%の削減を目指す。

3. 当業界のカバー率について

(1) 2014年度時点における2015年度見通し
35%

(2) 2015年度実績
32.8% (計画参加企業数19社)
※2014年度実績: 27.9% (17社)

(3) カバー率向上の具体的な取組

① 会員企業向け取り組み状況等の情報共有

② 課題解決に向けた対応策の検討

③ 低炭素社会実行計画等に関するヒアリング調査での意見陳述

※「平成27年度グリーン貢献量認証制度等基盤整備事業(低炭素社会実行計画の策定
業種拡大、及び温暖化対策の取組セグメント調査事業)」

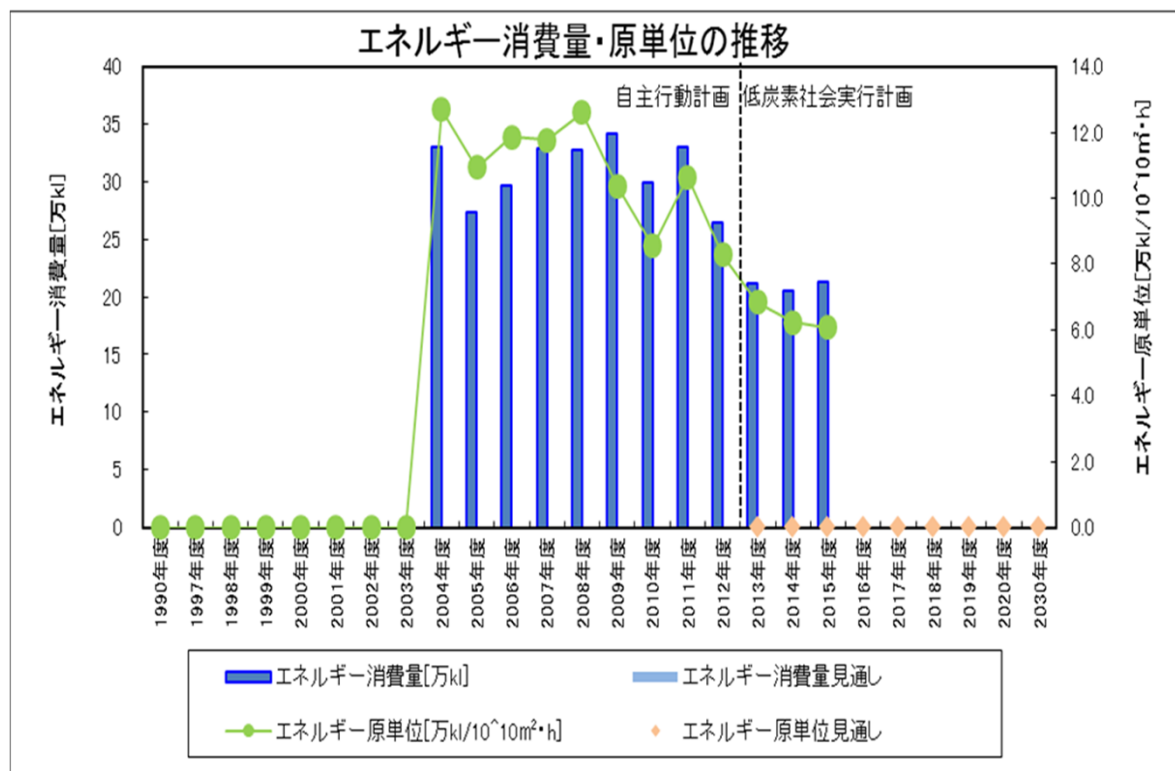
4. 2015年度における実績

(1) 目標指標: エネルギー消費原単位

(2) 実績値: 4.7% (2014年度比)

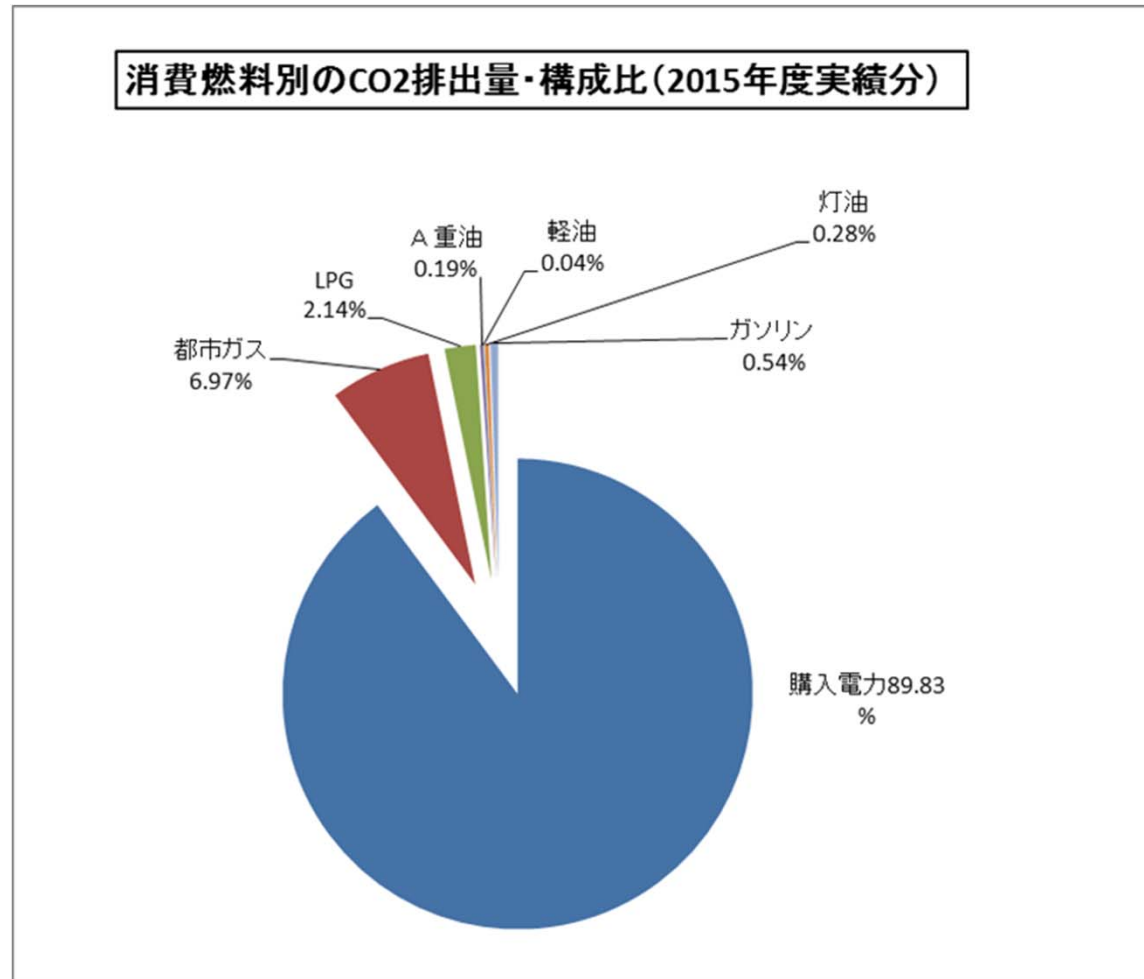
※2014年度実績: ▲4.9% (対前年度比)

(3) エネルギー消費原単位の推移



5. エネルギーの消費実態

【電力消費と燃料消費の比率(CO₂ベース)】 電力:燃料=89.8%:10.2%



6. 2015年度に実施した主な対策

- ・高効率照明に交換する
- ・トイレ等の照明に人感センサーを導入する
- ・冷房温度を28度に設定する
- ・暖房温度を20度に設定する
- ・高効率空調の導入・切替
- ・太陽光発電設備の導入
- ・自動販売機の夜間運転の停止

※運輸部門における主な取組

- ・社用車を低燃費車(ハイブリッド車)へ入替
- ・店舗向け商品配送車両の自社保有を無くす(他社への運送委託に変更)
- ・配送センターの集約により個別配車から一元化することで配送車両を低減
- ・トラック積載効率改善による配送車両台数(運行台数)の削減(配送運行量の削減)

※低炭素・サービス等の他部門における主な取組

- ・LED照明器具の販売

7. カバー率向上に向けた取組予定と要望

(1) 今後の取組予定

- ・取組み状況等の情報共有
- ・参加呼びかけ(各社社長級の会合等)
- ・行政機関(経済産業省業界所管課)からの協力

(2) 要望

「平成27年度グリーン貢献量認証制度等基盤整備事業(低炭素社会実行計画の策定業種拡大、及び温暖化対策の取組セグメント調査事業)」におけるヒアリング調査時に意見陳述済。

☆課題克服のために求められる要素

- ・企業側(参加・非参加問わず)の視点から企業が低炭素社会実行計画に参加しやすい環境づくりを目指していくこと(中小の会員企業各社の参加を如何にして促していくか)
例:フォローアップ調査票(提出報告書)の記載内容の簡素化(例:現在の全業界統一フォーマットに対して、業界種別により客観的項目と主観的項目を分ける)
- ・一般消費者(家庭部門)に対する政府からのPR強化等により、家庭部門全体の意識を高め、環境配慮型商品(サービス)への購入等に結び付けて、小売企業側の事業(販売)意欲につなげていくこと 等

※カバー率向上に当たって課題となり得る要素

- ・調査書類や報告書類の複雑化(高度化・重複)や多量化
- ・加盟企業内における企業規模の違いがあり、地球温暖化対策に対する温度差が見られる 等